

まつかわうら  
 松川浦

相馬市尾浜松川浦

☎0244-28-4848 (千客万来館・相馬市商工観光課)

 歴史  
 (成り立ち)

松川浦は汽水湖であり、東日本最大級の干潟。渡り鳥の中継地にもなり、環境省のラムサール条約の潜在候補地になる重要湿地だ。貴重な動植物が集中して生息する「ホットスポット」でもある。福島県浜通りにあった多くの干潟は埋め立てられ、現在残るは、松川浦ただ一つ。海流が砂を運び、南から砂州が伸びて湾口をふさぎ潟湖となった。東西2km、南北5kmほどで、水深は浅く大潮には底の見える所もある。元禄時代相馬藩主が「松川浦十二景」を選んだ風光明媚な地で「日本百景」「日本の港・百選」などにも選ばれ、大洲海岸は正に白砂青松の景勝地だった。また漁業・製塩・のり養殖・観光と、時代ごとの基幹産業を担ってきた。波風が穏やかな浦内は安全な漁港であり、レジャーボートの基地でもある。松川・岩子地区には旅館・民宿が多い。

 震災に  
 まつわる物語

あの日、9mを越える津波は太平洋と浦を仕切る砂洲を決壊させ、濁流となって打ち寄せた。浦口から沖合に逃げようとするフル駆動の漁船も、なすすべもなく流された。その映像はインターネットで配信され、世界中に津波のすさまじさを伝えた。海拔7mにあった大洲海岸のドライブウェイの防潮林の松は一本残らずなぎ倒され、大量の泥とともに広大な田畑を埋め尽くした。大小の漁船の塊は、波頭に乗って住宅地に押し寄せた。が、砂洲や浦のお陰で浦内の住宅は浸水するも流失せず、居住禁止区域にならなかったのは幸いだった。また、心配された希少動植物は少しずつ回復しており、震災前に消滅していたウミドリが復活したニュースも。今、100年後の防潮林のために、多くの人が松の苗木を植えている。「小松島」といわれた景観は失われたが、再びその名のごとき青い松ときれいな海を取り戻そうと奮励している。



裸になった景色は痛ましいが、それでも美しい松川浦

## 見る① 松川浦大橋

松川浦と海をつなぐ浦口にかかる斜張橋。H型の主塔から斜めに張ったワイヤーロープが美しい。幅13m長さ520m、平成7年3月完成。震災時は高さ9mの津波が主塔に激突、30mの高さまで波しぶきがたつた。橋自体はさほど損傷はなかったが、道路の決壊流失で通行不能になった。以前は松川浦観光の、今は復興のシンボルである。平成29年3月にライトアップが復活し、幻想的な夜景が戻った。4月開通予定。



☑ 相馬市尾浜字追川  
☎0244-28-4848 (千客万来館 相馬市商工観光課)  
📍20台 (鵜の尾岬側の橋下)

## 見る② 船越聖観音堂

観音堂だが、大きな赤い鳥居がある。南北朝時代に敗れた南朝方の菊池氏がこの地に逃れ、聖観音を安置したことに始まる。また戦時中に鵜ノ尾岬の松川村から移された夕顔観音堂や多くの地蔵様も同じ敷地にある。入口近くには渡辺満洲氏の顕彰碑がある。渡辺夫妻は松川浦と地元の清掃活動に励むこと20余年、その働きを多とする地元有志によって建立された。満洲氏の自宅は門前にあり、参拝者の便も図っている。



☑ 相馬市尾浜字船越  
☎0244-26-4848 (千客万来館 相馬市商工観光課)  
📍なし

## 見る③ 福島県水産試験場 相馬支場

津波で甚大な被害を受けたが復旧後、業務再開。試験操業の魚介類を半導体検出器でモニタリング。検査結果で出荷の可否を判断する。海産物の安全の見張り番を務める。被災直後より週2回、海水・泥・魚介類を採取して、放射能検査を継続している。また松川浦内での魚類の分布や季節移動の調査も行っている。相馬支場の特色は最前線の漁業者との意見交換ができること。見学は要予約。



☑ 相馬市尾浜字追川18-2 ☎0244-38-6775 📍10台



**食べる** さいはるしょうてん  
**5** 齊春商店

港町の大通り中程にある店は、震災前から海鮮料理で評判。本業は魚の卸小売りで入口右側は鮮魚店。リニューアルした店は堀コタツ式で足の悪い方も楽に座れる。旅館も営業中で、1泊2食9,000円〜。

☑ 相馬市尾浜字牛鼻毛119-1  
☎0244-38-8108 📍50台 11:00 ~ 14:00 17:00 ~ 21:00 (夜は要予約)  
📍第2火曜 (祝日の場合は翌日)



**食べる** しょくじどころ ぼち  
**4** お食事処たこ八

松川浦沿いの県道に面し、震災後新築した店は見つけやすく車も停めやすい。人気は地元磯部のホッキを使った「ホッキ飯定食」。2本の穴子天が丼から大きくはみ出た「大あなご天井」は誰もがビックリのボリューム。棟続きの直売所「海鮮市場カネヨ水産」では、相馬原釜漁港より水揚げされた魚介類が並び、キャリア40年の仲買人の目では選ばれた問屋価格のお土産が人気。お勧めは地元産の小女子。

☑ 相馬市尾浜字原228-25 ☎0244-38-8808  
📍43台 大型3台 11:00 ~ 15:00 17:00 ~ 21:00 (夜のみ休業あり) カネヨ水産 8:00 ~ 18:00 18:00 ~ 22:30 不特定休



**食べる** づど しょくさい  
**6** ハマナスの集い 食彩「ととや」

被災した浜の母ちゃん6人が力を合わせて立ち上げたNPO法人。松川浦漁港近くの仮設店舗で営業中。一皿に鯖の味噌煮2切、小ガレイ唐揚げが2匹は浜の並盛。しっかり濃い目も浜の味付け。注文次第で裏メニューも出てくる。安くて旨いと評判のオードブルは配達もしてくれるランチがおすすめ。カラオケ・パソコン教室に变身。表の道路から少し奥まり、わかりにくいのが、地元では「ハマナス」の名の通りが良い。「お遍路さんお立寄り」にも手を挙げてくれた。是非お茶やトイレに立ち寄って。

☑ 相馬市尾浜字港町1-23 ☎0244-38-6612  
📍10台 11:00 ~ 15:00 不特定休



**食べる** さばうまるじん  
**7** 茶房 MARUJIN

松川浦漁港の西、シックな外観の壁にティーカップのイラスト。店内からは松川浦マリーナが見渡せる。シフォンケーキセットとサバの味噌煮が揃う個人的なメニュー。実はこの店、1階の水産加工業「丸仁」の経営。卓にはメニューと魚のカタログが並んでいる。魚は真空包装の冷凍で3~5切と1回食べきりサイズ。お茶を楽しみながら魚を注文。帰りのレジには、新鮮な魚が1階から届けられている。

☑ 相馬市尾浜字港町2-57 2F ☎0244-38-6028  
📍相馬漁港20台 11:00 ~ 16:00 不特定休



# DATA BANK

料金・施設などのデータは、2017年3月現在のものです。

## 泊まる

	名称	ひとことコメント	インフォメーション
8	なぎさの奏夕鶴 <small>かなでゆうづる</small>	最上階の展望風呂からの松川浦の夕陽は最高	☎相馬市尾浜字追川 147 ☎0244-38-7111 [P]60台 ¥1泊2食 大人1名 8,000円〜/日帰り入浴は食事とセットのプランのみ
9	旅館 かのや <small>りよかん</small>	玄関の正面が松川浦。明るく改装され、海鮮料理が自慢	☎相馬市尾浜字船越 139 ☎0244-38-8013 [P]30台 ¥1泊2食 大人1名 8,640円〜/素泊まり 大人1名 5,400円〜
10	栄荘 <small>さかえそう</small>	全館畳敷きでゆったり食事を楽しめる。1泊3食のプランも	☎相馬市尾浜字牛鼻毛 64 ☎0244-38-8126 [P]50台 ¥1泊2食 大人1名 6,480円〜/日帰り入浴 大人 800円 (10:00〜21:00)
11	旅館いちぼう <small>りよかん</small>	高台で松川浦の素晴らしい眺望を全室から楽しめる	☎相馬市尾浜字高塚 208-10 ☎0244-38-8372 [P]30台 ¥1泊2食 大人1名 5,500円〜/素泊まり 大人1名 4,500円〜

## 見る

	名称	ひとことコメント	インフォメーション
12	鶴ノ尾岬 <small>うのおでき</small>	広大なパノラマと鶴ノ尾崎灯台、海洋調査船ヘリオス号の慰霊碑など。橋の開通を確認してからお出かけを	☎相馬市尾浜字松川 ☎0244-26-4848 (相馬市商工観光課)
13	川口稲荷神社 <small>かわぐちいなりじんじや</small>	浦口の高台にある。石鳥居は流失後に再建、石碑に傷跡が残る	☎相馬市尾浜字追川 ☎0244-26-4848 (相馬市商工観光課)

## 遊ぶ

	名称	ひとことコメント	インフォメーション
14	釣り・エサ豊漁 <small>ほりりょう</small>	釣り人の情報収集基地。乗合船は週1回程度、女性割引あり。要予約	☎相馬市尾浜原 219-1 ☎0244-38-6503 [P]スペースあり [圖]3:00〜18:00 ㊟火曜

## 食べる

	名称	ひとことコメント	インフォメーション
15	いその庵 <small>いそ</small>	石臼挽き地下製粉の手打ち。そば本来の味が魅力	☎相馬市尾浜字高塚 212-1 ☎0244-38-6766 [P]5台 [圖]11:00〜15:00 ㊟月曜 (祝日の場合は翌日)
16	旭亭 <small>あさひてい</small>	被災から高台に移転。丼・定食、そば・うどんなど。店内にはゆったりした時間が流れる	☎相馬市尾浜字牛鼻毛 66 ☎0244-38-7327 [P]15台 [圖]11:00〜15:30 ㊟水曜 (不定休あり)

## 書籍

タイトル	ひとことコメント
まるごと松川浦 <small>まるごと松川浦</small>	平成20年刊。震災前の松川浦がわかる詳細ガイド本。綴込松川浦の生物図鑑付き。編集・発行は松川浦ガイドブック編集室。1,000円。この本の収益は地域振興のために使われる。広文堂書店 (☎0244-35-3138) で

## 相馬っ子ご推せん

松川浦沿いをのんびり巡る散歩コース。川口稲荷の高台からの眺望や、復興を目指す漁港の様子など松川浦北部のさまざまな顔を見ることが出来る。MARUJINでお茶をいただいた後に、日帰り入浴を楽しみ、観音さまとお地藏さまに挨拶をして、カネヨ水産でお土産を選ぼう。

## ウォーキングコース

コース A	相馬双葉漁協 — 300m・5分 — 松川浦大橋 — 100m・2分 — 川口稲荷神社 — 150m・2分 — 福島県水産試験場 相馬支場 — 550m・7分 — 茶房 MARUJIN — 200m・3分 — 栄荘 — 400m・5分 — 船越聖観音堂 — 1.1km・14分 — お食事処たご八・海鮮市場カネヨ水産
-------	--